



**edion** Corporation

第8期 事業報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日



**株式会社 エディオン**

(証券コード： 2730)

トップメッセージ



エディオングループは、「お客様の声」をもとにした事業活動を推進します。

当社は、2002年3月に中国・四国・九州地方を地盤とする(株)デオデオと中部地方を地盤とする(株)エイデンの持株会社として誕生しました。その後、近畿地方を地盤とする(株)ミドリ電化、東京秋葉原地区を中心として関東地方に店舗ネットワークを持つ石丸電気(株)、北陸地方を地盤とする(株)サンキュー(ストアブランド:100満ポルト)が加わったことにより、西日本を中心に全国に店舗を展開する家電流通ネットワークに成長しました。本年2月のグループ内再編実施により、持株会社である(株)エディオンと事業会社である(株)デオデオ、(株)エイデン、(株)ミドリ電化、(株)サンキューおよびその子会社とで構成される企業グループとなっています。

私たちエディオングループは、お客様に安心して商品をお買い求めいただけるよう、万全のサービス体制を整備し、またカードによる長期修理保証制度、豊富な商品知識を持ったスタッフ、独自の機能を備えたオリジナル商品の品揃えなど、「買って安心、ずっと満足」の経営理念をもとにした事業活動を行っています。私たちは、よりお客様に喜ばれる店舗を目指しており、そのために「お客様モニター制度」や各種アンケートの実施など、「お客様の声」の収集に力を入れて取り組んでいます。これからもお客様からいただいた貴重なご意見、ご要望を活かした商品、サービス、店舗の開発に積極的に取り組み、お客様の豊かな暮らしを支え続けていく企業を目指します。

2009年6月  
代表取締役社長

久保 允彦



営業概況

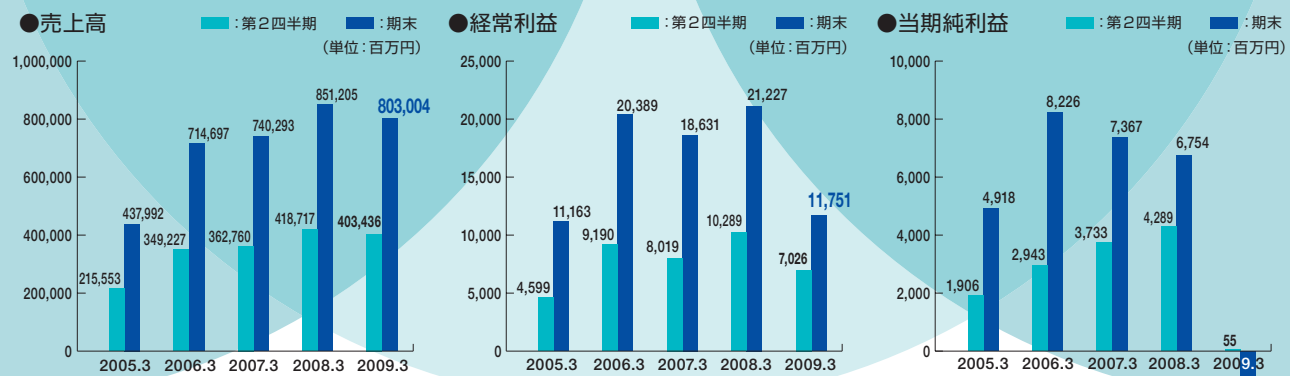
当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱や為替市場での急激な円高の進行により、極めて厳しい状況となりました。また、個人消費につきましても雇用情勢の悪化等先行き不透明感から節約志向が高まり購買意欲が一段と冷え込む状況となりました。

当家電小売業界では、上期においては、北京オリンピック開催により薄型テレビ等のデジタル家電の需要が盛り上がりを見せたほか、7月以降の猛暑や消費者の省エネ志向の高まりにより、エアコン、大型冷蔵庫に代表される高付加価値の白物家電が堅調に推移いたしました。昨年度後半より続く景気の後退の影響による個人消費の減速、また下期においては、さらなる景気の悪化、及び消費者の節約志向の強まりによる競合各社との競争激化等により、薄型テレビ等のデジタル家電における単価の下落、パソコン等の情報関連商品の不振、暖冬の影響によるエアコン等の季節商品の低迷等、業界全体として非常に厳しい市場環境の中で推移いたしました。

こうしたなかで当企業グループは、薄型テレビ等のデジタル家電の販売や高付加価値の白物家電の拡売に力を入れて取り組んだほか、グループ合同での販促セール等の共通の施策を行う一方で、エリア政策として、各エリアの特性を汲んだ価格・販促政策についても積極的に取り組み、中部エリアにおいては

(株)エイデンの創業60周年記念イベントとして「スーパー家電Live inナゴヤドーム」を開催する等、各エリアにおける事業基盤の底上げに取り組みました。また出店においては、平成20年6月に環境設備を充実させた「エイデン藤枝店」や同年9月に玩具やリフォーム、ウォッチ等を取り扱う郊外型複合店舗として「デオデオ倉敷本店」をオープンする等、地域シェア拡大に努めました。また関東エリアにおける売上の伸び悩みから、平成21年2月1日に関東エリアで事業活動を行う(株)東京エディオン、石丸電気(株)を中部エリアで事業活動を行う(株)エイデンが吸収合併することで、中部以東における一体運営を行うべく子会社の再編を行い、同時に不採算店舗の統廃合をすすめたことにより、店舗の減損及び除却損等の特別損失についても大きく膨らむこととなりました。

上記の結果、当期の連結売上高は、8,030億4百万円、営業利益12億32百万円、経常利益117億51百万円となりましたが、株式市場の低迷による投資有価証券の評価損57億51百万円、不採算店舗等の減損損失79億46百万円及び統廃合に伴う固定資産除却損18億87百万円等により特別損失が199億47百万円となり、また繰延税金資産41億7百万円を取り崩したこともあって、最終損益は135億6百万円の当期純損失となりました。



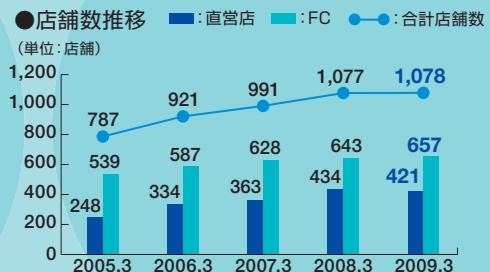
△13,506

## 出店概況

### 新規出店

西日本を中心とした出店と不採算店の統廃合による収益基盤強化につとめています。

2009年3月期においては、エディオングループの基盤となっている中部以西の西日本を中心に「デオデオサンリブシティくまなん店」「エイデンサントムーン柿田川店」「ミドリ大津一里山店」など家電直営店11店舗をオープンしました。そのほか、9店舗を移転もしくは増床しました。中でも、「デオデオ倉敷本店」は、家電だけでなく、玩具、ウォッチ、リフォームなど住生活関連商品をトータルで取り扱っており、これまで培ってきたグループのノウハウを投入した次世代型店舗となっています。一方で、経営効率の改善のため、不採算店の統廃合を進め、18店舗を閉鎖しました。家電以外の直営店につきましては、8店舗をオープンし、14店舗を閉鎖しました。以上の結果、2009年3月末の直営店は13店舗減少して、421店舗となっており、売場面積は1,056,301m<sup>2</sup>となりました。フランチャイズ店(FC)については、14店舗増加し、657店舗となりました。エディオングループ合計では、2009年3月末で直営店とフランチャイズ店を合わせて1,078店舗となりました。



●新規出店店舗(家電直営店) (2008年4月~2009年3月)

オープン	店名	所在地
4月	エディオン八千代店	千葉県八千代市
5月	エイデンサントムーン柿田川店	静岡県清水町
5月	エディオン柏沼南店	千葉県柏市
6月	ミドリ登美ヶ丘店	奈良県奈良市
7月	デオデオサンリブシティくまなん店	熊本県熊本市
7月	エイデン常滑店	愛知県常滑市
11月	デオデオゆめタウン三豊店	香川県三豊市
11月	ミドリ大津一里山店	滋賀県大津市
11月	エイデン四日市日永店	三重県四日市市
2月	エイデン津島店	愛知県津島市
3月	ミドリ赤穂店	兵庫県赤穂市

**DEODEO**  
デオデオ  
倉敷本店

**EIDEN**  
エイデン  
四日市日永店

**MIDORI**  
ミドリ電化  
大津一里山店

### 基盤強化

事業基盤強化のため、子会社の再編や共通サービスの展開を進めています。

当社は、2007年に関東エリアにおいて家電量販店を運営する石丸電気(株)を子会社化いたしました。また、2007年10月には新たな子会社として(株)東京エディオンを設立し、同じく当社の子会社である(株)デオデオ及び(株)ミドリ電化の関東エリア店舗を運営移管することで、エリアとしての一体的な運営体制を構築するなど、関東エリアにおける事業基盤の強化に努めてまいりました。しかしながら、市場競争の激しい関東エリアにおいて、競争力をあげていくためには、より一層の事業基盤強化が必要であることから、2009年2月に当社の子会社であり、中部エリアを中心に事業展開する(株)エイデンが、(株)東京エディオン、石丸電気(株)を吸収合併いたしました。これにより中部以東の東日本エリアは、(株)エイデンが運営を行う体制となり、より一層の営業力強化と収益基盤の強化をはかってまいります。

また、2008年9月よりエディオングループ共通のショッピングサイト「エディオン・イーネットコム」をスタートしたほか、2008年10月より事業会社間での相互配達をスタートするなど、グループ共通サービスの展開をすすめています。



●インターネットショッピング  
「エディオン・イーネットコム」

中国・四国・九州エリア  
**DEODEO**  
(株)デオデオ

近畿エリア  
**MIDORI**  
(株)ミドリ電化

北海道・北陸エリア  
**満ボルト**  
(株)サンキュー

**edion**  
(株)東京エディオン  
**ishimaru**  
石丸電気(株)

中部・関東エリア  
**EIDEN**  
(株)エイデン

合併

## 経営戦略

### オリジナル商品

お客様に満足いただける商品の開発に取り組んでいます。

当社では、お客様の声をもとにしたオリジナル商品の開発に積極的に取り組んでいます。室外機にさびにくい加工を施したエアコンや、テンキーを内蔵したノートパソコンなど、独自の機能を付加することで、お客様に満足して末永くご使用いただきたいと考えています。当社におけるこうしたオリジナル商品の売上構成比は25.3%(2008年度実績)に達しており、今後も「お客様モニター制度」などで収集したご意見をもとに、より一層魅力的で利便性の高いオリジナル商品の開発に取り組んでまいります。



「KuaL(クオル)」



●オリジナル商品

## 経営理念

# 買って安心、ずっと満足

エディオングループは、「魅力ある商品」「優れたサービス」

と「安心の価格」で共に提供します。

### 地域密着

各地域に根ざした事業活動を展開しています。

エディオングループでは、各事業会社が、それぞれの展開する地域に根ざした事業活動を展開しています。各地域の特性にあわせた品揃えやサービスを展開することで、お客様に支持いただける店舗を目指しています。また、地域のスポーツ・文化活動の発展のため、スポーツクラブや文化活動への支援等も行っており、地域社会との協調を図っております。

2008年6月には、(株)エイデンが創業60周年を迎えたことを記念し、ご愛顧いただいている地元のお客様への感謝の気持ちを込めて大型家電イベント「スーパー家電LIVE in ナゴヤドーム」を開催いたしました。



●スーパー家電LIVE in ナゴヤドーム



●家電製品アドバイザー

### エディオンカード

独自の会員カードがお客様の安心を支えています。



●エディオンカード

ご購入された商品を末永く使用いただきたいとの想いからスタートした当社独自の長期修理保証制度。「エディオンカード」にご入会いただくと、年間1,029円(税込)のみで、お買い上げいただいた5,250円以上の当社指定商品は何品でも5年間・10年間の長期修理保証を受けることができます。また、エディオングループでのお買い物だけでなく、他店でのお買い物でもポイントが付与される、大変便利でお得なカードです。これまで「eeカード」として展開していたデオデオ、エイデンに加え、2008年9月よりミドリ電化でも導入し、新たに「エディオンカード」として、エディオングループ共通カードとしての展開を進めています。2009年3月末現在、394万人のお客様にご入会いただいております。当社とおお客様の結びつきを強め、当社の経営理念「買って安心、ずっと満足」を支えています。

### サービス

お客様のご要望にきめ細かく対応します。

お客様が最適な商品をご購入いただけるようにサポートするため、社員の商品知識や接客力の向上に取り組んでいます。高い商品知識と接客技術をもった(財)家電製品協会の認定する家電製品アドバイザーが、エディオングループ合計で、3,607名(2009年1月現在)在籍しています。

また自社グループによるアフターサービス体制もエディオングループならではのものです。お客様のご要望にきめ細かく対応できるよう「時間帯指定配達」「即日配達」などの配達サービス、持込修理や出張修理体制など修理サービスの強化に取り組んでいます。

# 連結財務諸表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表

科 目	第8期	第7期
	(平成21年3月31日)	(平成20年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	16,912	34,621
受取手形及び売掛金	27,477	31,662
有価証券	2,119	651
たな卸資産	—	101,421
商品及び製品	85,783	—
原材料及び貯蔵品	274	—
繰延税金資産	4,833	8,033
その他	15,929	14,168
貸倒引当金	△156	△212
<b>流動資産合計</b>	<b>153,173</b>	<b>190,345</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	70,378	75,379
工具、器具及び備品(純額)	5,754	6,674
土地	76,746	78,089
リース資産(純額)	1,065	—
建設仮勘定	3,510	1,006
その他(純額)	1,620	2,138
<b>有形固定資産合計</b>	<b>159,075</b>	<b>163,289</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,899	4,288
その他	15,368	9,927
<b>無形固定資産合計</b>	<b>17,268</b>	<b>14,216</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	6,359	17,607
繰延税金資産	9,785	9,116
差入保証金	35,553	36,461
その他	6,708	6,892
貸倒引当金	△820	△525
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>57,586</b>	<b>69,552</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>233,929</b>	<b>247,058</b>
<b>繰延資産</b>		
株式交付費	16	—
社債発行費	17	6
<b>繰延資産合計</b>	<b>33</b>	<b>6</b>
<b>資産合計</b>	<b>387,136</b>	<b>437,410</b>

## 連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

科 目	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
<b>平成20年3月31日残高</b>	<b>10,174</b>	<b>82,364</b>	<b>59,848</b>	<b>△65</b>	<b>152,321</b>	<b>△760</b>	<b>△15,246</b>	<b>△16,006</b>	<b>41,261</b>	<b>177,576</b>
<b>当期変動額</b>										
剰余金の配当			△2,112		△2,112					△2,112
土地再評価差額金の取崩			△308		△308					△308
当期純利益又は当期純損失(△)			△13,506		△13,506					△13,506
自己株式の取得				△12	△12					△12
自己株式の処分		△4		9	5					5
その他			△5		△5					△5
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						671	308	979	△27,033	△26,054
<b>当期変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>△4</b>	<b>△15,932</b>	<b>△2</b>	<b>△15,939</b>	<b>671</b>	<b>308</b>	<b>979</b>	<b>△27,033</b>	<b>△41,993</b>
<b>平成21年3月31日残高</b>	<b>10,174</b>	<b>82,359</b>	<b>43,916</b>	<b>△68</b>	<b>136,382</b>	<b>△88</b>	<b>△14,938</b>	<b>△15,026</b>	<b>14,227</b>	<b>135,583</b>

(単位:百万円)

## 連結損益計算書

科 目	第8期	第7期
	(平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	(平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>803,004</b>	<b>851,205</b>
売上原価	616,946	656,175
<b>売上総利益</b>	<b>186,057</b>	<b>195,030</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>184,825</b>	<b>186,550</b>
販売費	41,021	44,540
一般管理費	143,803	142,009
<b>営業利益</b>	<b>1,232</b>	<b>8,480</b>
<b>営業外収益</b>	<b>13,770</b>	<b>14,697</b>
受取利息及び配当金	676	601
仕入割引	10,235	11,155
投資有価証券売却益	0	17
負ののれん償却額	1,456	—
持分法による投資利益	—	16
その他	1,401	2,905
<b>営業外費用</b>	<b>3,252</b>	<b>1,949</b>
支払利息	1,491	1,428
デリバティブ評価損	811	195
持分法による投資損失	248	—
貸倒引当金繰入額	260	—
その他	439	325
<b>経常利益</b>	<b>11,751</b>	<b>21,227</b>
<b>特別利益</b>	<b>265</b>	<b>789</b>
前期損益修正益	70	—
固定資産売却益	38	42
貸倒引当金戻入額	3	6
投資有価証券売却益	124	84
退職給付引当金戻入額	—	272
店舗撤退違約金	—	115
未払賞与戻入益	—	200
その他	27	69
<b>特別損失</b>	<b>19,947</b>	<b>8,203</b>
前期損益修正損	16	—
固定資産売却損	19	325
固定資産除却損	1,887	2,212
減損損失	7,946	1,300
のれん減損損失	975	—
投資有価証券売却損	373	—
投資有価証券評価損	5,751	224
商品評価損	538	—
商品保証引当金繰入額	226	—
賃貸借契約解約損	1,275	189
過年度未払給与等	—	3,363
その他	936	587
<b>税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)</b>	<b>△7,930</b>	<b>13,813</b>
法人税、住民税及び事業税	4,417	9,020
法人税等調整額	2,243	△2,224
少数株主利益	—	—
又は少数株主損失(△)	△1,085	262
<b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>	<b>△13,506</b>	<b>6,754</b>

(単位:百万円)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第8期	第7期
	(平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	(平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	△7,930	13,813
減価償却費	11,718	10,932
減損損失	7,946	1,300
のれん減損損失	975	—
のれん償却額	△67	660
貸倒引当金の増減額(△は減少)	239	87
賞与引当金の増減額(△は減少)	△849	622
退職給付引当金の増減額(△は減少)	262	△120
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△302	87
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△295	△494
受取利息及び配当金	△676	△601
支払利息	1,491	1,428
投資有価証券売却損益(△は益)	248	△101
投資有価証券評価損益(△は益)	5,751	224
持分法による投資損益(△は益)	248	△16
固定資産除却損	1,860	2,212
売上債権の増減額(△は増加)	4,015	△492
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,314	8,818
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,790	△7,446
その他	253	262
<b>小計</b>	<b>34,414</b>	<b>31,180</b>
利息及び配当金の受取額	377	421
利息の支払額	△1,551	△1,385
法人税等の還付額	1,448	—
法人税等の支払額	△8,366	△14,059
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>26,323</b>	<b>16,156</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△110	△6,180
定期預金の払戻による収入	2,130	1,552
有形固定資産の取得による支出	△21,265	△28,793
有形固定資産の売却による収入	452	5,451
無形固定資産の取得による支出	△7,336	△3,959
長期前払費用の取得による支出	△1,769	—
投資有価証券の取得による支出	△4,580	△7,763
投資有価証券の売却による収入	1,521	6,544
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	—	△7,389
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の売却による収入	95	—
差入保証金の差入による支出	△3,517	△2,862
差入保証金の回収による収入	3,420	2,514
預り保証金の受入による収入	739	1,259
預り保証金の返還による支出	△903	△497
その他	△275	△914
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△31,399</b>	<b>△41,039</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,243	25,675
長期借入れによる収入	888	15,500
長期借入金の返済による支出	△11,059	△14,254
社債の発行による収入	14,984	500
社債の償還による支出	△300	△740
配当金の支払額	△2,111	△2,110
少数株主への配当金の支払額	△309	△269
その他	△888	1,582
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,039</b>	<b>25,883</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△10</b>	<b>—</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△10,126</b>	<b>1,000</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>28,591</b>	<b>27,590</b>
<b>連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額</b>	<b>△1,453</b>	<b>—</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>17,011</b>	<b>28,591</b>

(単位:百万円)

## 事業会社の状況

### 株式会社デオデオ



設立	1947年5月
資本金	19,294百万円
店舗数	704店舗
正社員数	3,387名
2008年度売上高	2,702億円
事業内容	家庭電化製品、情報通信機器等の販売

広島市に本店を置く(株)デオデオは、大規模直営店舗を中核として周辺に小型フランチャイズ店舗「DFS」を配置する地域密着型のエリア戦略を展開。販売からアフターサービスまで、お客様のニーズに合わせたきめ細やかなサービスを提供しています。2009年3月末現在、店舗数は704店舗(直営119店舗、フランチャイズ585店舗)を数え、中国・四国・九州エリアにおいて、マーケットシェアをさらに拡大しています。



### 株式会社エイデン



設立	1955年4月
資本金	12,694百万円
店舗数	239店舗(連結ベース)
正社員数	3,569名(連結ベース)
2008年度売上高	2,406億円(連結ベース)
事業内容	家庭電化製品、情報通信機器等の販売

名古屋市に本社を置く(株)エイデンは、中部エリアにおいては「エイデン」、関東エリアにおいては「石丸電気」「エディオン」のブランド名で、家電店舗を展開するほか、ホームセンター「ホームエクスポ」、携帯電話専門店など幅広く事業を展開し、お客様のニーズに対応しています。2009年3月末現在、店舗数は239店舗(直営168店舗、フランチャイズ71店舗)を数え、中部エリアを中心にマーケットシェアを一段と高めています。



### 株式会社ミドリ電化



設立	1961年8月
資本金	1,560百万円
店舗数	78店舗
正社員数	2,442名
2008年度売上高	1,839億円
事業内容	家庭電化製品、情報通信機器等の販売

兵庫県尼崎市に本社を置く(株)ミドリ電化は、家電、AV機器、家具・インテリアをはじめ、玩具、CD・DVDソフト、テレビゲームなど幅広い商品を展開し、お客様のライフスタイルをトータルにサポートしています。心をこめた接客からアフターサービスまで、「お客様の高い満足度」の実現に向け取り組んでいます。2009年3月末現在、店舗数は78店舗(直営78店舗)を数え、近畿エリアで高いマーケットシェアを占めています。



### 株式会社サンキュー



設立	1976年11月
資本金	10百万円
店舗数	57店舗(連結ベース)
正社員数	815名(連結ベース)
2008年度売上高	702億円(連結ベース)
事業内容	家庭電化製品、情報通信機器等の販売

福井市に本社を置く(株)サンキューは、北陸・北海道・山陰地方を中心に家電量販店「100満ボルト」を展開するほか、CD・DVDなどのソフト専門店「宝島王国」、修理専門店「Mr. コンセント」、携帯電話専門店など幅広い業態を展開しています。2009年3月末現在、店舗数は57店舗(直営56店舗、フランチャイズ1店舗)を数え、北陸エリアを中心に高いマーケットシェアを占めています。



## 会社状況

### ■会社概況 (2009年3月31日現在)

- 会社名 株式会社エディオン
- 事業内容 家庭電化製品の販売を主として行う子会社である(株)デオデオ、(株)エイデン、(株)ミドリ電化、および(株)サンキューなどの株式を所有し、グループの経営管理全般や商品仕入などの本部機能を担う。
- 設立日 2002年3月29日
- 資本金 101億74百万円
- 本店所在地 東京都千代田区外神田一丁目9番14号
- 本社事務所 大阪府大阪市北区堂島一丁目5番17号堂島グランドビル
- 上場取引所 東京、名古屋取引所 各市場第一部
- 正社員数 451名(単体) 10,664名(連結)

### ■株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 大阪府大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業 TEL:0120-094-777(通話料無料)
- ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### ■株式の状況 (2009年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式総数 105,665,636株
- 株主数 22,728名

### ■取締役・監査役 (2009年6月26日現在)

- 取締役
 

代表取締役社長	久保 允誉	株式会社デオデオ取締役会長 株式会社ミドリ電化取締役会長 情報システム本部長 株式会社エイデン代表取締役社長
取締役副社長	岡嶋 昇一	株式会社ミドリ電化代表取締役社長 株式会社ミドリ電化代表取締役社長 総務人事本部長兼総務人事部長兼法務室長 営業本部長
取締役副社長	友則 和寿	財務経理本部長兼財務経理部長
取締役副社長	中口 雄司	内部監査室長兼内部監査担当長
常務取締役	藤川 誠	経営企画室長
取締役	船守 精一	
取締役	麻田 祐司	
取締役	梅原 正幸	
取締役	山崎 徳雄	
- 監査役
 

常勤監査役	高橋 圭治	株式会社ミドリ電化監査役
監査役	石田 勝治	
社外監査役	異相 武憲	株式会社エイデン監査役
社外監査役	沖中 隆志	株式会社ミドリ電化監査役

#### 株主優待

当社では多くの皆様に株主になっていただきたく、「株主様ご優待制度」を設け、エディオングループでのお買い物にご利用いただける優待券を贈呈しております。

#### ●対象は100株以上保有の株主様

対象となる株主様は、毎年3月31日現在の(株)エディオンの株主名簿および実質株主名簿に記載された100株以上保有の株主様です。保有株数に応じて、15枚から250枚の優待券(1枚200円)を贈呈いたします。

#### ●優待券のご利用はエディオングループで

(株)デオデオ、(株)エイデン、(株)ミドリ電化、(株)サンキューの各店舗(子会社、フランチャイズ店舗を含む)、およびインターネットショッピング(エディオン・イーネットコム <http://www.edion.com/>)でお買い物の際、お買い上げ金額2,000円(税込)ごとに優待券1枚をご利用いただけます。

■優待券発送時期/毎年6月の定時株主総会終了後に発送の予定です。 ■ご利用期限/7月1日から翌年6月30日までの1年間です。



# エディオン インターネットショッピング 家電・デジタルのイー・ドットコム

# edion .com

**お買得品  
満載!!** **会員特別価格もご用意!**  
**ぜひご登録ください!**



エディオン イードットコム

検索

クリック

<http://www.edion.com>

 edion Group

 DODEO

 EIDEN

 MIDORI

edion 

ishimaru 

 満ボルト

## 株式会社 エディオン

■ 本社事務所  
〒530-0003  
大阪府大阪市北区堂島一丁目5番17号 堂島グランドビル  
TEL: 06-6440-8711 (代) FAX: 06-6440-8740  
<http://www.edion.co.jp>

ECO

1人 1日 1kg めざせ! 1人、1日、1kg CO<sub>2</sub> 削減



エコ製品を選んで買おう

チーム・マイナス6%

エディオングループは省エネ家電フォーラム、チーム・マイナス6%に参加し、「めざせ! 1人、1日、1kg CO<sub>2</sub>削減」応援キャンペーンに協賛するとともに、省エネ型製品の普及推進に取り組んでいます。